

令和6年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和6年5月25日（土）14時～16時
- 開催場所 布佐南近隣センター
- 参加者 市民44名
- 出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、海老原市民生活部長、
山本環境経済部長、篠崎建設部長、中場都市部長、担当課長等19名
- 懇談要旨

市民：市長いろいろとご説明ありがとうございます。我孫子は今いろいろな意味で注目されていると思います。印西の方にデータセンターが出来るとか、取手にイオンモールが出来るとかで、住みやすい所を探してる人にとっては、やはり品川とか東京の方まで1本で行けて、成田まで行ける。そういう路線がある常磐線沿いの中では、住みやすいといろんな人が言っていて、土地の値段も上がっています。そういう中で、交通機関をしっかりとっていくというのは、今がチャンスだと個人的に思っています。その中で、バスが廃止になってしまうという話は、これは正直、阪東バスさんに意見を言うべきかと私は思っています。市もこういう実証運行を行うということですが、市のバスにしてしまった方がむしろ自由が利くのか、阪東バスだから時間帯とか運賃とか厳しい部分があるのか、というところが私は気になっていて、もしこの布佐のルートの実証運行バスがうまくいけば、時間帯を考えていただけたりとか、増やしていただけたりするのかなと私は疑問に思いました。

私としては、成田線が何かあったとき、運休のときに、天王台までは常磐線で行けます。でも、天王台から東我孫子やその先の布佐に行けなくなったときに、このバスがあると、駅としての対応ができると思います。だから、ここをなくしてしまうというのは、厳しいと思っています。さらに、我孫子から布佐間、新木から布佐間は、歩くにも時間がかかったり、雨の日ですと大変で、夜はとても暗くて怖いです。前回お話をさせていただき、時間帯のお話をしたときに、その後3月にバスがダイヤ改正をして、12時台がちょっと増えました。改善されていると少し嬉しかったのですが、まさか22時台がなくなって、それ以降もなくなってしまおうというのを見て、その時間帯に通勤する人は一番使うと思います。なので、市の方でもし実証運行バスのアンケート

などを行ったときに、どの時間帯が一番使うのか、利用者が多いとか、この時間帯は利用者が少ないから、逆に減らしても大丈夫というふうに自由が利くのであれば、正直市の方でバスの運行をした方がいいのではないかと私は思っていますが、どうかという質問になります。

市長：ありがとうございます。これは、新聞等でもあったように、千葉県内で3万2,000ぐらいのバス路線の内、2,000近くが廃止になりました。まさか、我孫子の路線も含まれているとは思いませんでした。実際に廃止される大きな原因は、特に今年からいろんな業種でも働き方改革で運転者がいません。以前のように残業してもらって、もうちょっと延長できるという方法が、極端に言うと禁止されたというか出来なくなりました。ですから、延長しようとするともう1人雇わなければなりません。当然、ガソリン代の値上がりや人件費の上昇によると、利用客の少ない所から廃止せざるを得ないというのが、バス会社の厳しい状況です。これは阪東バスだけに限らず、県内で約1割近くの路線が廃止されている現状からすると、実際に運転手がいらないのです。タクシーも同じです。タクシーもバスも車はあるのですが、運転手がいなくて運行ができないのです。こういった現象は、バスやタクシーだけでなく、他にも影響が出てきています。

そのうちの 하나가医師の働き方改革です。市内の小児救急が非常に厳しい状況で、ご存じのように、今まで我孫子市内の小児救急は取手協同病院にお願いしてきました。補助金を出して、契約をしながら、24時間体制を確保していただいたのですが、働き方改革で夜の11時から朝8時までは救急車ですら受け入れられませんと言われました。これは、大学病院での労働時間と、出向先のいわゆる中核病院での労働時間が別々にカウントされていたのが、一緒にカウントするようになったので、大学病院の勤務体制を壊すわけにはいかないことから、大学側は大学の状況を把握するために、出向先の状況を制限してきたのです。我孫子の医師会長や柏の医師会長と相談させてもらいながら、救急医療の確保について、柏の病院にも協力してもらおう形で、医師会同士でも話し合いをしていただいています。そのうちに我孫子や柏、あるいは千葉県にもそこをバックアップする体制をとらないと、それだけでなくとも小児科医が不足してますから、小児科、産科、麻酔科、救急外来、救急救命については今、なり手が少ない状況です。

いくら医学部の定員を増やしても、実際そこに就かない若い医師が多いという状況の中だと、なかなか厳しい現実があります。ですから、若いお母さん方も小児科の先生でなくてはいけない、ではなく、子供を見てくれる内科や外科の先生でも、まずそこで1回診てもらい、これは小児科の専門医でないと厳しいとなったときに、そこから小児科に行くという形を取らないと、これから先、小児救急は危機的な状況になります。ましてや、市内の小児救急搬送の約9割が軽傷です。若いお母さん方が今まででしたら、おばあちゃんがアドバイスをしてくれて、これだったらこの薬飲ませて、明日の朝まで様子見ておけばいいよというのが、全く知識がないので、全部119番にかけてしまう。そうすると、救急車も厳しいけど、小児科の先生ももっと厳しい労働時間で耐えているということをまず知ってもらいしかありません。救急搬送の9割が軽症ということは、入院する必要はない救急搬送ということであることを含めながら、少し医師会とも話をさせてもらって、もうしばらくしたら、いろんな小児救急での相談事がしやすい形をホームページや広報でお知らせをさせていただきます。これからの働き方改革でもっといろんな業種でこういう状況が出てくるというふうに思っていますので、皆様のご理解をいただきながら進めていくしかないと思っています。

その中で、直営という話は、市でバスを買って、市で維持をして、市で運転手さんを用意することになります。それに見合うだけの収入が取れるかということです。

当然、路線バスを運行するには、国交省の運輸審議会の方で許可を得ながら進めなければいけないので、いくら市でも勝手に道路を走らせることは出来ません。許可が必要です。そうすると今、この路線の許可を持ってる阪東バスに委託するほうが早いわけです。先ほどお話しましたように、バスは持っていますので、そこの赤字部分を阪東バスに支払うことによって、維持をしてもらうという方法を、この9月から実施するのが、一番早いと考えます。運輸許可が下りるまでには数ヶ月かかります。そうすると、バス路線廃止になってしまうかもしれません。今やろうとしている方法は、許可を持っている阪東バスの赤字を補填することによって、継続してもらうという方法をとっています。

来年度以降どうするかという話ですけれども、まずは今回のこの平和台線については、7時から19時までの間で、休日も平日も休日ダイヤで運行する予定です。料金は今と全く同じで、同じバス停で運行させていただきます。7ヶ月で800万の予算を計上し

ています。当然1年運行することになった場合は、その倍になります。さらに19時以降、時間を延ばそうとすると、さらに倍の予算を計上しなければ維持ができません。これから議会に相談させてもらいますが、どのぐらいの予算を出して維持すべきかどうか、いろんな議論が出てくるかも知れません。私としては、廃止されたこの布佐線と平和台線は平日運行が、休日ダイヤになっても維持していこうと思っています。あと問題は、7時から19時といっても、運転手さんの勤務時間ですから、6時半で終わってしまうのではないかという不安があるかと思いますが、最後の駅までという前提で動かし

ます。

半年間ご不便をおかけしますが、ここについて多くの皆さんの理解を得る必要があると思っています。当初のシャトルバス計画は、本来なら布佐から新木を通して、湖北台を通過して、湖北台は路線がありますから、布佐・新木からの速達性を重視して、成田線を補完する形で行う予定でした。当然、駅周辺の方は成田線に乗った方が速いですから、多分、駅と駅間の人たちが利用するだろうという前提で、いくつかのバス停をパスしていく考えでおりました。でも、残念ながらコロナになってしまい、多くの人たちが電車もバスを利用しなくなったので、コロナ期間中に実証運行してしまうと、多分いらぬという結果になるのが見えていましたから、コロナが開けてから実行しようとしたら、残念ながらこうして阪東バスが2路線を廃止すると言ってきました。そこで、まずは布佐・新木間の速達性を重視したシャトルバスよりも、現状の路線維持に切り替えさせていただき、その後また少し考えながら、シャトルバスが必要になるとさらにお金が必要だという状況の中で、どこから財源を生み出すのかという議論をしていかなければ実施できません。我孫子には路線バスを運行できる会社は3社あります。それを含めると阪東バスにお願いするのか、他の会社ですと路線の認可を取ってからということになりますから、それを踏まえながら、まず、現状の路線の維持、ここに重点を置いて対応させていただこうと思っています。減便になる時間帯等もありますけれども、そこについてはご理解いただきながら対応していきたいと思っています。

時間帯については、成田線に乗り遅れるのは困ると必ず言われますので、成田線の発着が朝で20分に1本、日中だと30分に1本ですから、ここの時間帯に合わせるように変更をしていきたいということと、それとお年寄りが多くなってきておりますので、

バス停で下りて駅まで行くのにちょっと時間がかかるから、もう少し時間的余裕がほしいという声が、成田線沿線は出ています。それを踏まえて最終的に阪東バスと調整をさせてもらって、まずは最寄りの駅に行って成田線に乗れるという状況と、あとは天王台までの二つをよく比べさせてもらいながら、路線は確保したい考えです。1人の運転手で1台のバスの運行という前提で、まずはこの半年からさせていただきますので、そこについては、ご理解いただくしかないと思っています。後は、いろんな意見を頂戴しながら、来年度以降どうやって継続するのか、しないのか。継続しないという考えについては、多分皆さん「うん」とは言わないと思いますので、それを踏まえて検討させていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

市民：2点ほど質問させてもらいます。毎回質問してるのですが、私どもが住んでいる上町の排水区の整備です。これはどのぐらいかかるのでしょうか。今はちょうど駅前ぐらいまで来てますけれど、まだ時間がかかるのではないかと思います。

もう一点は、説明がありました布佐小学校の入口の件です。実は5月3日の8時半頃から、工事が始まりました。私は、自治会長を2年前にやっていたので、近所の方から2件ほど、「なにかすごい音がしているけれど、知ってますか。」という連絡がありまして、早速、現自治会長に連絡しました。

自治会長は、「何も聞いてない。」とのことで、近所の住民も何も聞いていないとのことでした。これはちょっと問題だと思ひまして、業者の方に伺いましたら、小学校の学校の近くなので連休中に工事したいとのことでした。私は、「頑張ってください。」としか言うことができなかつたのですが、せめて近隣の世帯、あるいは自治会長の方に、連絡していただけたらよかつたなと思ひました。朝早くから4日間工事したのですが、そういう状況でありました。今日の説明で建物は別として、大体2mぐらい道路が広がるということで、少しゆったりできるかなと思ひます。そのへんのことについて、ぜひ自治会長に連絡を取って、ご説明いただいたらいいと思ひます。以上でございます。

建設部長：はい、どうもありがとうございます。

まず、排水対策の方ですけれど、今、布佐駅近辺のあたりは、昨年から今年度にかけて来年2月ぐらいまで、千葉竜ヶ崎線のところ200mの排水管の工事をして、それと千葉竜ヶ崎線と停車場線の下水道の移設工事をしています。一番肝心なのは、そこから千葉竜ヶ崎線を横断する工事です。今のところ令和9年度を目標に掲げておりますので、大変申し訳ございませんが、今しばらくお待ちいただければと思います。それから2番目の布佐小学校入口の工事ですが、2.5mの歩道をつけるということで、ご存知だと思いますがそんなに広くありませんので、土地を買収させていただいて、物件の解体をしていくことになります。我々、市の方は、まだ工事に入っていないのですが、契約者である土地を買収させていただく方と契約の方が済みまして、建物の解体工事に入っていくところです。大体7月終わりぐらいまでには完了するという予定でしたけれども、すいません。我々も今回の工事については、土地所有者が行うことであり、市としては見ていなかったものですから、工事に入りますというご連絡ができなくて大変申し訳ございませんでした。契約者の方と、あの工事の進み具合についても調整をして、自治会の方にもお知らせしたいと思います。我々、市の工事ですが、地権者の方の工事が終わってから、早めに入札の方に入らせていただいて、9月の初めぐらいには道路拡幅工事に入りたいと思っています。その際には確実に事業者から自治会の方にはご説明させていただきたいと思っております。今回は申し訳ございませんでした。

市長：実は私も、昨日布佐小学校の方に学校訪問にいったのですが、きれいに伐採されていて、これでやっと建物を壊して、いよいよ工事だなと期待していましたが、まさか伐採の件を地元の自治会に全く報告していなくて行われたということで、大変申し訳ありませんでした。これから建物を壊しますので、また凄まじい音が出る感じがあります。そこは必ず業者の方に伝えさせてもらいます。工事を行う前に少なくとも周辺と、自治会には話をするように伝えさせてもらいます。これまでは、国道356から曲がって入ってこようとすると前に車があると絶対に入れなかったのが、これからは、ゆったりと入れるようになって、歩道も片側しか予定しておりませんが、歩道が確保できるようになりますので、子供たちを暖かく見守っていただければと思います。国道356の方は、今県の方で用地買収をして歩道を確保する形をとりますので、またその時に同じような状況になると思います。そこは県にも伝えまして、工事着手前に

お伝えできるようにさせていただきます。何しろ、布佐小学校、布佐中学校の子供たちが、安心して学校に行けるような環境が確保できるようになりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

市 民：今の工事に関連したことなのですが、この資料の中で、敷地内に倉庫が二つありますが、市の工事の道路の左側10メートルぐらいのところに、昔のつるべ井戸があります。そのつるべ井戸ですが、去年まで蓋をしておりましたが、去年、私の方で、布佐小学校の教頭先生に話をして、子供たちが入ってきたら危ないから、教頭さんがベニヤ板をかぶせたみたいですが、そのままになっていると思います。この工事をやるために今樹木伐採したようですが、伐採したことによって、誰でも入れる状態です。だから子供たちがその井戸に近づいたら危ないので、その辺の対策をよろしくお願ひしたいと思います。

市 長：はい、ありがとうございます。今は市の道路工事として、あの交差点から布佐小学校に入る側を先に工事していますけれど、これからは国道356も県の方が伐採して工事が始まると、もっと出入りがしやすくなりますので、教育委員会と協議し、所有者さんとも話し合いをさせてもらいます。先ほど言いましたように、全部取り壊しがされていきますので、まずは、子供たちに工事中だから入らないよという指導をさせるようにいたします。対策については、教育委員会と相談させてもらって、安全になるよう対応させてもらいます。ありがとうございました

市 民：3年前に免許を返納しまして、今出かけるときは最寄りのところからバスでしかいけない状況です。バスについてですが、昔は布佐が中心だったのですけれど、今のバスは、成田線の乗り継ぎも、全部新木になってしまって、バスがないとほとんど動けません。今、バスを使う用事としては、主に買い物です。スーパーが新木に二つあります。昔は車があるときは、ナリタヤまで行ったのですが、そこへも行けなくなってしまいます。今は、布佐ではなく、新木のどちらかのスーパーに行っているというところ。二つ目については病院です。平和台病院は送迎バスがあります。ただ、他の病院に行く時は、バスがありません。歩かなければならない状況です。高齢によ

り足腰も弱ってきております。眼科に行く時などは、タクシーを呼んでいます。ただ、タクシーも普段は湖北にいますのですが、平和台病院からタクシーを呼ぶと来てくれるのに、布佐の平和台ですと来てくれません。結局、布佐に来るのに時間がかかり、効率がよくないということだと、私は思っています。もう一つは唯一の楽しみである読書です。これまでは、自転車に乗って布佐の図書館に行ったりしたのですが、今はバスがないと行けません。先ほど市長が言われたように、料金は据え置きということですが、私から言わせてもらおうと、料金も大事ですが、便がなくなるのが一番怖いのです。料金を上げることに反対する人もいるかもしれないですが、路線がなくなるのであれば、値上げもしょうがないと思っています。また、今のバスは大型ですので、運行してから乗る人数を把握した中で、人数によっては、マイクロバスに変えた方がよいのではないかと思います。生活者が困らないようなルート運行等を考えていただきたいと思っています。

市長：先ほどお話しましたとおり、阪東バスさんから年明けに2路線が廃止になるという話がありました。その際、速達性を重視するか、現状の路線バスを維持するか、阪東バスさんと協議をいたしました。とりあえず、運行許認可を持っている阪東バスさんに委託をしながら、空白期間をつくらぬようにということで、スタートすることになりました。その中で、どのようにすれば、路線を維持することが出来るのか、これから検討させていただきます。他の地域でも、駅まで遠くてバスがなければ、どこへも行けないということで、あびバスがあります。あびバスは、当初150円でスタートしていましたが、200円にしてでも走らせほしいという話もいただいております。今、阪東バスさんの最低運賃が170円になっておりますので、そこを踏まえて検討する必要があると思っています。同じ料金で、同じバス停で、同じルートで移行していこうとしておりますので、急遽言われたからと言って、そう変えられるものではありません。まずは、国交省の認可が下りている阪東バスさんでスタートしますから、これから先、もしかしたら走行場所が変わるかもしれません。バス停も変わるかもしれません。また、料金も変わるかもしれないということも踏まえながら、検討させていただきたいと思っております。各病院については、送迎バスがあるので、それぞれの病院に行く場合には、それを使えばいいのですが、他の病院に行こうとした場合、例えば

日医大とかあるいは慈恵医大に行こうとすると、また乗り換えなければなりません。よって、関係機関を結ぶ形の路線バス、あびバスも含めて、それで乗り換えをさせていただくしかないだろうと思っています。そこについては、少し状況を見させていただきながら、やはり足の確保という部分は、十分検討させていただこうと思います。ちなみにですが、布佐駅を通過してニュータウンに行くバスは、布佐の議員さんの提案を含めて実施されたものです。ですから、我孫子市も負担してます。印西市と負担し合いながら、布佐駅を通りながらニュータウンに行きます。あれは印西市側からの要望があって、布佐駅を通過して我孫子東高校を通りますから、このルートにより、現在の印西市発作地区も通るようになりました。印西市と我孫子市の要望が合致して、我孫子市と印西市が負担し合うことによって、ちょうど市境に住んでいる方々が、利便性の確保ができるようになるということで、距離割、バス停割をしながら、我孫子の中を通るバスの活動を踏まえながら、我孫子は少しお金を出しています。大半は印西市を通りますから印西市がお金を出して、印西のバスが通っているように見えますが、我孫子市も払っておりますので、堂々とお乗りになってください。ただ私が気になるのは、成田線沿線に住んでいる木下、小林駅があってそちらに住んでいる方は、新木や布佐と同じ状況であって、何で印西市は、住みやすいところだと言われるのか、不思議でしようがないところでもあります。これからも足の確保が大切だろうというふうに思っていますので、そこを踏まえて来年度に向けてもう少し検討を進めさせていただきます。いずれ、もしかしたら阪東バスから、他の会社が変わるかもしれないのですが、そういうこともあり得ます。ただ、最初にお話ししましたとおり、阪東バスさんは、今路線の認可を得ていて、他の2社は路線の許可を取ってないという違いがあります。切り替えの際に空白の期間をつくらないようにしなくてはいけないという前提の中で、これはどういうふうに市としても動いていくのか、阪東バスさんの路線廃止の話を聞いてからまだ半年も経っておりません。来年度に向けては、私も阪東バスさんと協議をさせていただいて、また国交省の方の路線の認可についても、協議をする必要があるというふうに思っています。これについてはもう少しお時間をいただきます。この新しい状況が決まるまでは現状の路線の維持、まずここに注意をしていきたいというふうに思います。よろしくお願いいたします。

市 民：先ほど市長が現状の路線バスの時間で運行されるとお聞きしましたが、もし運行して、その時間帯に人が全然乗っていない場合、今後廃止にするという考えはないですか。通勤時間とか人が乗りたい時間が無いということで、休日の時間帯が18時までとされてしまうと、その時間帯に人が乗っていないというと、この路線は人が乗らないから廃止で大丈夫だということにはなりませんか。

市 長：私としては、平和台線については、運転手さんが19時に終了するという路線の時間帯を考えております。それ以外の時間帯については、ご意見を聞きながら検討してまいります。時間帯の乗降客数を確認しながら、その先を検討させてもらうというふうに思っております。その中で、先ほどお話しましたようにこの平和台線については、この6月議会に補正予算をだします。7ヶ月で800万の補正予算を計上しています。そこで予算が可決されれば、9月以降それで動くということになりますので、そこについては、皆さん方も6月議会の補正予算に対する賛否というのを聞いて見ていただければなというふうに思います。実際に3月の新年度予算は、布佐から天王台駅までの予算を計上しましたが、5人の議員さんが反対致しました。ただ、それは全体の反対であって、どういう理由で反対したかは、私はわかりませんが、ただその予算には、例えば子供たちの4月以降の医療費の補助、子供たちの給食費の補助、障害者、高齢者の方への民生費が入っていました。なぜ反対されたかについては、それぞれの議員さんに聞いてもらった方が良いかと思っております。私としては、まず今年度はしっかりと現状を維持していきながら、来年度については修正をあげようと思っております。現状でも平和台線は19時以降の協定をしていません。19時以降の件は、話をしているのですけれど、他の街に聞いてみると、例えば朝早くから運行が必要ない街からすると、スタートを8時から20時までにしてみたり、あるいはもうちょっと朝早く必要なところは例えば6時から18時とする、それ以降については、もう1人運転手を用意しなくてはいけなくなります。この4月以降、現状を踏まえて、それだけの予算を投入するかどうかというのは、議会とも話をしなくてはいけないというふうに思っています。そこについては、議会だよりというのがありますから、補正予算を作って、どういう方々が賛成・反対したかというのを皆さんがチェックしてくれると我々としてもやりやすいです。

市 民：市の考えとしては、どのぐらいの予算をどのように決めているのか、赤字補填ということであれば、運賃を少し上げるなどを阪東バスさんとお話してはどうかと思います。また、運賃を均一にしても良いのではないかととも思いますので、そういうことも検討していただきたいと思います。

市 長：赤字部分を運賃に反映すると、皆様が乗りたくなくなるような高額な運賃になると思われますので、ある程度税金の投入が必要になると思われます。あとは、乗る方の受益者負担が必要になります。先ほどお話ししましたとおり、阪東バスさんの最低運賃が170円ですので、200円ぐらいにするしかないだろうと思われます。例えば、布佐線ですと天王台から布佐まで400円になってしまうところを一律で良いのかということを含めて、その路線の料金体系を変動することはできると思います。我孫子市民の方が、理解してくださる補填額にしなければならないと思います。あびバスの収支では赤字です。午前中は、新木地区のふれあい懇談会でしたが、あびバスが赤字であることを気にしている方がおられました。路線によって異なりますが、コロナ前は500万円の赤字だったのが、現在では1,000万円になってしまっている状況です。昔に比べると人権費や燃料費の高騰により、その差額まで補填しなければならなくなっていますので、議会でも議論されるのではないかと思います。今年予算につきましても、大半の議員さんが了承くださいましたので、議決されたわけですから、皆様の意見も議員さん方は理解してくださると思っております。あとは、税金からいくら補填していくか、これから検討していく必要があります。合意がとれる状況を探っていくしかないと思っております。

今年の秋にも、ふれあい懇談会を開催いたします。次回の会場は、ふさの風近隣センターになると思いますが、9月以降新たな路線が始まりますので、実際に利用されてご意見等がでてくると思います。担当課もどのぐらいの人数や金額等により、バスの大きさなども検討していくものと思います。ただ、バスの大きさは変わったとしても、人件費は変わりません。バスも今のバスからマイクロバスにしても、燃料費はそんなに変わらないでしょう。ただ、マイクロバスを購入しなければならなくなります。また、マイクロバスですとSuicaは使えません。対応できるとすれば、回数券になりますので、利用が不便になります。

11月のふれあい懇談会では、皆様が実感したご意見等を伺うことになり、新年度予算に反映することになりますので、貴重なご意見を頂ければと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。